

# 平成 28 年度 第 8 回 理事会議事録

日時：平成 28 年 11 月 22 日（火）19：00～21：30

場所：県士会事務所

出席：（理事）小林伸、磯野、有泉、北山、名取、古屋、  
大西、三科、上田

（部長）小林泰、入倉

書記：内田

## 会員管理情報

慶事 1 件 弔事 1 件 施設数 126

会員数 840 名（施設 785 名 自宅 55 名）

## I. 審議事項（全 1 題）

### 1. 企画局 公開講座部（上田公開講座部長）

公開講座について（資料 1 参照）

2 月で予定していたが、講師の清水さんからキャンセルの連絡があった。会場は敷島総合文化会館に変更し、日程は 3 月 19 日で講師は清水さんか、パラリンピック選手の中西さんのどちらかで検討する。

## II. 報告事項（全 22 題）

### 1. 各種委員会報告

#### ・地域支援事業推進委員会（磯野副会長）

① 主催研修会 1) 「山梨県における地域ケア会議の実践に向けて多職種連携でセラピストに求められること」（資料参照）の開催が決定している。PT は石和温泉病院花田先生が講師。案内は今から行なう。

主催研修会 2) 県委託事業「PT・OT・ST 指導者育成研修会」（資料参照）の開催が決定。

② PT 士会委員会活動について（資料参照）

12 月に委員会を開催、3 月 4 日に推進リーダー研修を開催予定。時間短縮のために主催研修会 1) 2) を受講することを必須として予定している。

③ 委員会と調査研究部からアンケートを士会員に配布している。今週末提出締め切りなので協力をお願いしたい。

#### ・訪問理学療法委員会（小林会長）

実務者研修会を今月開催した。内容はシンポジウムとグループワーク、他職種からの活動報告や講義等があり、内容が濃く好評であった。来年度も継続して開催していく予定。

#### ・災害対策準備委員会（小林会長）

昨日 3 士会協議会理事会があり、医師も含めた山梨 JRAT として県と締結して協力していく報告があった。11 月 20 日早川町で災害対策訓練のデモンスト

レーションを見学した。

#### ・特別支援教育委員会（有泉事務管理局长）

平成 28 年度第 1 回特別支援教育委員会研修会について（資料参照）

参加者数は 105 名。スタッフを含めると 120 名の参加であった。

#### ・4 士会ワーキンググループ（磯野副会長）

会議報告について（資料参照）

① 研修会概要

② 会の名称が「やまなし地域リハ・ケアの推進を考える会」に決定した。

#### ・表彰委員会（有泉事務管理局长）

秋の褒賞について推薦なし。今後推薦する先生の名簿等を作成するため声かけをさせていただく。

### 2. 生涯学習局（北山局長）

#### ・新人教育研修部

第 2 回新人教育プログラム研修会について（資料参照）

#### ・委託講習会部

理学療法士講習会について（資料参照）

研修会は参加費で賄っているが士会から予算をとっており、30 万円程余裕がある。

### 3. 社会局（古屋会報部長）

#### ・スポーツ理学療法部

関東甲信越ブロック協議会スポーツ推進事業研修会について（資料参照）

東京五輪、パラリンピックに向けて協力できる人材をどれだけ育成できるかが不安。語学の問題が大きい。

活動報告について（資料参照）

予算を立ててから急遽帯同するものが多くなってしまった。予算が足りなくなった場合、補正予算をくんでどの程度出してもらえるのか？

依頼側よりどのぐらい補助をもらい、どの程度予算がかかるかを具体的に計上してもらおう。

### 4. 福祉厚生局（三科局長）

#### ・医療・介護保険合同研修（資料参照）

今年度は参加者が多かった。以前の理事会で今後継続していくか議題に挙がっていたが、士会の役割として来年度も継続して研修事業を実施していく。

### 5. 企画局（上田公開講座部長）

#### ・公開講座部

長寿たすけ愛講演会の申請結果について（資料参照）

助成を申請したが今回は落選。「勉強、運動、笑い」の要素が必要であり、それぞれの分野の講師を選定する必要がある。

・企画研修部

研修会報告について（資料参照）

6. 学術局（名取局長）

・学術研修部（資料参照）

第2回学術研修会事業報告について

・学術集會部（資料参照）

第20回山梨県理学療法士学術集會レセプション開催概要について

7. 事務管理局（有泉局長）

①11月6日（日）協会組織運営会議報告

有泉局長が会長の代理で出席。

1) 平成29年度重点課題について：半田会長より

i) PTの労働力環境の把握の改善

初任給の低下と昇給がないことが問題になっている。

ii) PTの研究及び臨床場面の向上

公的会議の中でPTの質の低下を指摘された。臨床能力の低下と新人教育プログラムの再構築について取り組んでいく。養成校のカリキュラムの単位を現在の93単位から99単位への変更を検討している。

iii) 地域包括ケアシステムに向けた組織作り

iv) 平成29年度に向けた同時改訂について

v) 公的保険におけるPT業務の拡大

若いPTが起業し開業権がないのにHP等でPTとして認められた権利をこえ自分が治すというのを謳っているものがある。類似業務と線引きをるようにしていく。

vi) アジアを中心とした海外戦略の構築

vii) 会員の組織率の低下

2) 会費前納制について（資料参照）

3) 協会賞の推薦について（資料参照）

4) 新生涯学習システムキャリアラダーについて

改訂案として2年間の新人PTプログラム研修、5年間の登録PTプログラム、10年間の認定PTプログラムを経て専門PT、指導PTへの育成を図る。専門PTや指導PTには認定看護師の様に加算がつけられるようにしたい。平成30年に準備を始め平成31年に運用する予定。

5) 士会組織強化について（小林会長）

地域包括ケアに向けて事務所を構え士会強化に重点をおくことになった。選定会議の結果、士会

の強化費用として100円×士会人数分と150万円が1年ごとに5年間無条件でもらえる。どの局に捻出してもよい

3 士会合同協議会の活動費を考えている。身近な事業の中で他の県士会でやっていないモデルのようなものになるものがあれば出してほしいので検討してほしい。事務経費、事務員の雇用、研修会、公開講座、五輪派遣等にも有効に使いたい。今後、ヒヤリングをして5つほどに選定していく。

6) 協会指定管理者ネットワークの構築について

士会強化と各病院のセラピストの管理者を養成する目的で士会として研修会を開催しなければならない。士会長の推薦があれば初級指定管理者養成の研修を受講することができるが、推薦基準が定まっていない。各病院の所属長の推薦と役職があることを基準に検討している。研修会を企画することで協会から補助金が10万円出る。研修会の受講を希望している士会員もいるので、今年度は生涯学習局に研修会を企画してもらい、2月の平日で協会から佐々木先生を講師として招聘し開催できるか交渉していく。

②甲府市介護認定審査委員の推薦依頼について

甲府市議会議員金丸さんと谷村先生との話し合いで甲府市介護認定審査委員としてPT3名を推薦してほしいと依頼があった。甲府市内の病院に勤務し介護保険に精通していることが条件となっている。湯村温泉病院、甲府城南病院、恵信甲府病院のスタッフの推薦会長思案として考えている。

③士会HPの改ざんについて（資料参照）

今回は書き込みがあったただが対応していく必要あり。各部、局は投稿用のパスワードを全て変更してほしい。10~15文字数で大文字、小文字、数字、記号を使用する。有泉局長にパスワードを提出し、最終的に中込先生に登録してもらう。

④補助金申請受付（杉浦記念財団）の募集について

地域で活動しているものに関して1件につき50万円を限度の補助が出る。内容は多職種連携で関わる事業で募集期間は2月末までとなっている。各局でHPをみて検討してもらう。

⑤会費未納者リスト

リストは事務局の不備で今回提示できないが、未納者は30人程いる。この理事会に出席している方達の所属で未納者がいた場合、有泉局長がメールで知らせる。それ以外の方は会費未納の通知を

出す。それでも未納である場合、年明けに督促状を出し、最終的には会長から連絡をすることになる。

⑥事務員の雇用について（資料参照）

有泉局長と野呂瀬様で就業形態について打ち合わせを行った。期間は今日以降、来週ぐらいからとなる。資料に提示したその他特別休暇は「有」ではなく「無」に修正。士会から依頼した郵便物の出し入れ等、仕事量を調整しながら行ってもらうようにする。藤田先生が管理会社に連絡し事務所のバリアフリー化をどの程度進められるかを確認してもらっている。来年、もう1人在宅でPT資格のある人を少し高い時給で雇用したいと思っている。事務所に電話を設置し、来年にはPC、コピー機等を揃える予定。

⑦「認知症と食を考える」合同研修会の後援承諾を行った。

### III. その他

1. HPに2009年からのサポーターズのPDFを掲載している。（大西広報局長）
2. 関ブロ旧役員が表彰式に参加した。（三科福祉厚生局長）  
交通費は士会から出した。参加費も士会から出すようにする

### IV. 次回の理事会日程について

日時 平成28年12月20日（火）19:00～

場所 県士会事務所

連絡 12月16日（金）までに審議事項および資料を事務管理局（有泉理事）へ提出する。  
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。

### V. 会長より

- ・東京五輪における関東中心で実施予定の研修会について協会から交通費、宿泊費等を会員に出すことは厳しいとの話がでてきている。都士会長より協会へ費用の援助について交渉してもらう予定。五輪へ派遣するスタッフとして最低、英語が話せることが必要であるので、研修のカリキュラムに英語教育が入る。
- ・関ブロの士会長会議に出席した。学会への支援金が400万円だったが繰越金や会員数が増えているので来年長野の学会から500万円に支援金が増える。  
災害のときの事務的な機能については協会の動向をみながらそれぞれの士会、関ブロで対応していく。
- ・12月14日連盟の総会がある。友清先生が記念講演をされる。案内を出すので多くの参加をお願いしたい。